

「製品認証取得の会員紹介」⑩

三友工業株式会社 小牧工場



三友工業(株)本社ビル

来年1月7日に創業55周年を迎える三友工業株式会社(愛知県小牧市。野畑年弘社長)を紹介する。同社はゴム射出成形機の国内外トップメーカーとして広く知られ、「SANYU-STIシリーズ」はトップランナー商品としてユーザーの間で深く浸透している。また、災害時にバックアップ用電源として利用されるオールインワンタイプの小型非常用自家発電装置「キュートパワー」のほか、可搬形発電装置、非常用発電装置などの高性能・高品質で環境に優しい各種電源システムを製作依頼を受け供給している。

創業の経緯

三友工業株式会社は昭和29(1954)年1月に、名古屋市郊外に株式会社三友工業所として創設された。創設当初は工作機械の修理、起重機およびエレベーターの設計製作を手掛けていた。創業者は野畑由博氏。同社は創業者の唱えた「人柄と技術の向上に努めよ。全てに誠実を尽くせ。原理原則を守れ。物資を大切にせよ。改善と前進に努めよ。」これら5つを創業以来の社是としている。

昭和30(1955)年12月に名古屋市東区に大幸工場を新築、移転した。昭和36(1961)年7月に小牧市大字三ツ淵に小牧工場を建設。大幸工場から機械および製缶部門を移転。翌年、この小牧工場を売却し、小牧市大

字舟津徳重に購入した工場用地に新たな小牧工場を新築した。機械、電機、製缶に加え、ジェット機用消音装置、ゲート等の大型設備工事の操業を開始した。昭和39(1964)年4月に隣接地も



ゴム射出成形機「110VR」

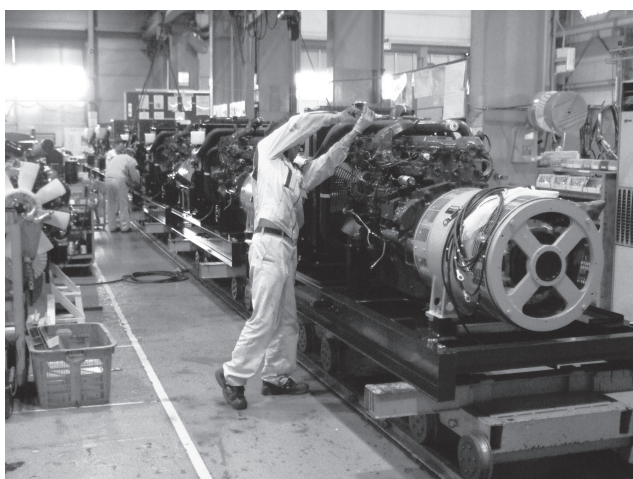
購入して小牧工場全敷地を18,550m²に拡充した。

昭和48(1973)年4月、現在、同社事業の柱となっているゴム射出成形機「STIシリーズ」を開発した。昭和53(1978)年10月、発電機の組み立て工場を新設。昭和59(1984)年1月には業務拡大に伴い、会社名を現在の「三友工業株式会社」に変更した。その後も事業は順調な発展を遂げて、平成元(1989)年5月、「SANYU USA, INC.」、平成13(2001)年8月、「STI CORPORATION LTD.」、平成18年(2006)年10月「昆山三裕機械有限公司」を設立し、米国、タイ、中国での販売およびサービスを行い、海外市場への売り込みも積極的に取り組んできた。

4大コア事業

三友工業では、現在、「化工機事業」、「エネルギー事業」、「環境事業」、「自動化学業」の4つの事業を柱として技術開発・商品開発に取り組んでいる。

「化工機事業」では、ゴム射出成形機を製造し、国内シェア1位を誇っている。「エネルギー事業」では防災用発電設備、非常用発電設備、可搬形発電設備の製作依頼を受けて製造している。

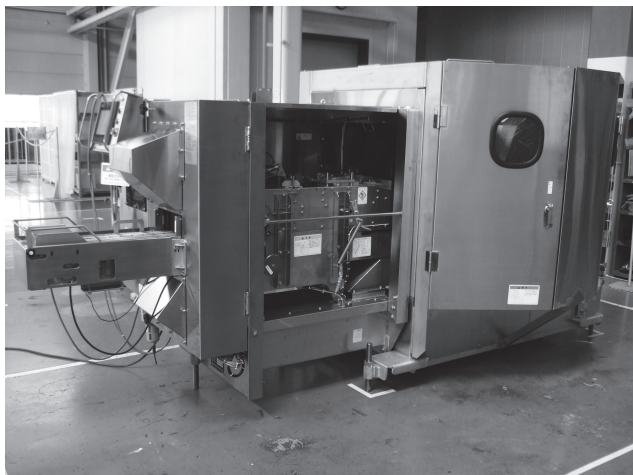


発電装置の組立ライン

「環境事業」では急速発酵堆肥化装置などの環境製品製造のほか、プラント装置の換気口や排気口から発生する騒音に対する減音制御システム、航空機の地上試験の際に使用する排気消音器などの騒音防止システムを開発、供給している。また、「自動化事業」では自動車産業などの分野において産業ロボットを駆使したシステムから工場の生産ラインシステムの構築、半導体や液晶基板の搬送システムなどの設計製作を行っている。これら2つの事業で日本一になるべく取り組んでいる。その他事業として「食品機械」なども商品化している。

キラリ光る個性的な商品群

これまでに同社はお客様のニーズに応じて幅広い分野で多彩な商品の開発に挑戦し続けている。CCDカメラで魚体を自動計測し、高い精度で均一の切身加工を瞬時に行えるマイコン式自動切身機「イタサンシリーズ」が好例。大規模スーパーや食品加工工場向けに累計で100台程販売している。また、販売・在庫状況を携帯電話で確認できるIT技術を駆使し



マイコン式自動切身機スーパーイタサン

たロータリー式・鶏卵自動販売機「たまご市場」がある。ユニークなアイデアを商品化につなげる高度な企画力・技術力が三友工業の強味である。

「キュートパワー」の販売に注力

今後の重点事業として、従来からの中心事業である化工機事業と併せて、ユーザーにおける防災意識の高まりを受けエネルギー事業の拡大を積極的に推進していく。これにより、発電設備は委託製造を中心に取り組んできたが自社ブランドでの販売にも注力していく。その目玉商品が「キュートパワーシリーズ4タイプ(5.0kVA～15.0kVA)」だ。災害時に重要な役割が期待され高い信頼性が求められる防災無線用電源として、また、パソコンなどの通信機器用電源として開発した小型非常用発電装置。停電対策のバックアップ用電源として、厳格なセキュリティ対策が求められる金融機関、公共福祉施設、放送中継局、物流センター、養鶏場、薬品工場などに積極的に売り込んでいく。特徴として、震度7相当の地震にも耐えられる高い耐震性を実現したこと。72時間連続運転が可能な長時間タイプ(5.0kVA)のため195リットル燃料タンクを一体化で標準装備したこと。離島にある通信施設での使用も想定して高い耐塩塗装も標準仕様で施したことがあげられる。

お客様の好奇心から商品を創造する「ユニークな総合メーカー」愛知の三友工業(SANYU)からは今後も目が離せない。



小型非常用自家発電装置キュートパワー